

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【公開番号】特開2018-126458(P2018-126458A)

【公開日】平成30年8月16日(2018.8.16)

【年通号数】公開・登録公報2018-031

【出願番号】特願2017-23548(P2017-23548)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月18日(2019.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のリールと、  
複数のトップスイッチと、  
有利区間ランプと、  
所定の表示装置と

を備え、

通常区間と、

所定の開始条件を充足した後から所定ゲーム数を上限として継続可能な遊技区間である有利区間と

を少なくとも有し、

前記有利区間の遊技では前記有利区間ランプが点灯可能であるよう構成されており、

前記通常区間の遊技では前記有利区間ランプが点灯しないよう構成されており、

特定の条件を満たすことにより、有利な操作態様を指示可能な指示状態を実行可能であり、

指示状態を実行している状況下であって、役抽選手段により所定役が当選した遊技では、有利な操作態様を指示するための指示情報を前記所定の表示装置に表示可能であるよう構成されており、

指示状態の終了に基づいて所定の演出を実行する場合があり、

前記所定の演出の後に指示状態を実行する場合と、前記所定の演出の後に指示状態を実行しない場合とを有し、

指示状態の終了に基づいて前記所定の演出を実行しているときは、前記有利区間ランプが点灯しているよう構成されていることを特徴とする回胴式遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0006】

本態様に係る回胴式遊技機は、

複数のリールと、

複数のストップスイッチと、

有利区間ランプと、

所定の表示装置と

を備え、

通常区間と、

所定の開始条件を充足した後から所定ゲーム数を上限として継続可能な遊技区間である有利区間と

を少なくとも有し、

前記有利区間の遊技では前記有利区間ランプが点灯可能であるよう構成されており、

前記通常区間の遊技では前記有利区間ランプが点灯しないよう構成されており、

特定の条件を満たすことにより、有利な操作態様を指示可能な指示状態を実行可能であり、

指示状態を実行している状況下であって、役抽選手段により所定役が当選した遊技では、有利な操作態様を指示するための指示情報を前記所定の表示装置に表示可能であるよう構成されており、

指示状態の終了に基づいて所定の演出を実行する場合があり、

前記所定の演出の後に指示状態を実行する場合と、前記所定の演出の後に指示状態を実行しない場合とを有し、

指示状態の終了に基づいて前記所定の演出を実行しているときは、前記有利区間ランプが点灯しているよう構成されている

ことを特徴とする回胴式遊技機である。

<付記>

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係る回胴式遊技機は、

複数のリールと、

複数のストップスイッチと、

情報を表示可能な情報表示部として、第1情報表示部と、第2情報表示部とを備え、

所定の開始条件を充足した後から所定ゲーム数を上限として継続可能な遊技区間である有利区間と、有利区間以外の遊技区間である非有利区間と、を少なくとも有し、

前記有利区間である旨と前記非有利区間である旨とのいずれかを第1情報表示部に表示するように構成されており、

所定の条件を満たすことにより、報知状態に制御可能であり、

前記報知状態に制御されている状況下において、少なくとも役抽選手段により所定役が当選した遊技で、前記所定役に対応するストップスイッチの操作態様を特定可能な情報を第2情報表示部に表示し得るよう構成されており、

第2情報表示部に表示可能な演出として、前記有利区間の継続を示唆する継続演出を少なくとも有しており、

前記継続演出を実行可能なゲームにおいては、前記継続演出の実行有無に問わらず、第1情報表示部に前記有利区間である旨を表示するよう構成されている

ことを特徴とする回胴式遊技機である。